
会いたい

瑠利

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

会いたい

【コード】

N3201C

【作者名】

瑠利

【あらすじ】

健吾とわ卒業から全然あえない。あえないだけでなくmailをしても返事がない。健吾に会いたくて会いたくて仕方がないあたしのお話です！

第1話 卒業

今日であたし達の恋が終わったね。

また健吾と会えるといいな。

卒業式

卒業式が始まる少し前。

あたしわ健吾を屋上へ呼び出した。

「もう分かれよう。」あたしわ本当わこんなこと言いたくなかった。でもわがままで甘えん坊でしつこいとあたしといると健吾がダメになっちゃう気がした。

健吾とわ高校からちがくなる。

小学校の頃からずっと一緒にいたあたし達。

離れるなんてつらい。だけどずっと一緒にいたら健吾がダメになる。どうせ高校へ行ったらそんなにあえなくなる。

だったらいつそうあたしと分かれて高校へ行っていい人見つけていい恋をしてほしい。

「分かれよう」

「なんでだよ!!どうした??」

「もう毎日のように会えるのわ今日で最後だよ!!しかももうあたしのがままとかについていけないでしょ!?!」
高校でいい人見つけていい恋してね。」

わたしわその場から立ち去ろうとしたら健吾に腕を引っ張られた。
「おいつつ待てよ!意味分かんねえよ!!突然どうしたんだよ!」

「つらいの!!健吾の顔みてるにつらくなるの!!」

「なんでだよ!」

「あたしのわがままのせいで健吾の自由がだんだん奪われていかれちゃう気がするの。しかも高校行ったら全然あえなくなる。そしてらもつと寂しくなっちゃう。」

少し沈黙がつづいた。

「ほら早くしないと式が始まっちゃうよ。」そういつてわたしわ笑った。

でも健吾わすぐあたしの作り笑いに築いちゃうよね。

2時間後…

「李南、明日佳ありがとう。また会おうね。」私わいろいろな人としゃべってからお別れをした。

李南達としゃべっていると健吾の姿が見えた。寂しそうな顔をしていた。

李南達とさようならをして帰ろうとしたら健吾に腕を引っ張られて屋上へ連れて行かれた。

「まだわからないの?」

あたしがそう言つと健吾わあたしにキスをした。

「……」

「これで最後な。」

あたしわ知らないうちに涙を流していた。

「さみしくなつたらma i iとか電話とかしろよ!」

「うん」

「いじめられたりしたら俺にいえ。いつでも助けてやる!」

「あ、ありがとう」

「じゃあな!」

「バイバイ」

あたしわ健吾に背を向けて歩いてった。

あたしわしってるよ!!健吾も泣きたいんだよね。

でもあたしに泣き顔見せたくないんだよね。

今までありがとう。

また会えるといいね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3201c/>

会いたい

2010年12月31日02時18分発行